

## 【特別寄稿】

### 神戸ヒヨコ登山会 創立 95 周年記念事業「発祥の地・善太郎茶屋跡にレリーフ建立」の経緯 会長 吉野 宏

当会は 5 年後(2022 年・平成 34 年)に創立 100 周年を迎える。90 周年記念式典(2012 年・平成 24 年)時、「めざせ 100 年 元気なヒヨコ!」を合言葉として、共に 10 年後を目指そう!!と誓ってから、早や 5 年の歳月が経過しようとしている。会員の高齢化を考えると、ヒヨコの歴史の証しや、次代を背負ってくれる会員の育成など、先輩会員としてやっておかなければならぬことは山とある。



建立された神戸ヒヨコ登山会・発祥の地 レリーフ

毎月行っている総務委員会の役員諸兄は、この点を十分理解されて会議にも真剣に取り組んでくれている。有難いことである。ヒヨコの伝統である「会員間の絆・支部間の絆」を大切に下さっているお陰と常々感謝している次第である。

さて、本年は創立 95 周年目であり、5 年ごとに行っている会員物故者の法要を営む「物故祭」がメインの行事となるのだが、その他にも記念として何かを残しておきたい!・・という意見が大方の委員にあったため、会長として企画提案を 2 点出し、検討をした。

- 1・再度本部ヒヨコ会館跡にレリーフ建立
- 2・発祥の地・善太郎茶屋跡に記念碑建立

結果、「毎日登山発祥の地」としては善助茶屋跡に立派な記念碑が設けられているが、我々の会が誕生した大龍寺山門下にあった善太郎茶屋の存在はあまり知られていなかったというのは残念であり、何はともあれ、ここに記念碑を!

・・ということで意見が一致。その方向で早々に検討を重ねた。ところが記念碑となると制作や建立の問題に加え、相当な費用が必要となるので、記念碑は諦め、レリーフで検討することになった。銘板のデザインは吉野、銘板をはめる台座は日頃からお世話になっている神戸市森林整備事務所様に相談すると、材料から制作まですべてご協力下さることになったのである。



設置の為の作業（穴掘り）

お披露目式典を 3 日後に控えた 7 月 20 日、防水加工を施して出来上がったレリーフの設置作業を行う為、吉野、北島、流の 3 名で現地へ。吉野、北島で前もって下見作業を施してしていたので穴掘りもスムーズに行く。バランスを入れ、バランスを取りながらセメンを流し込み、完成。





大小のバラスを入れコンクリートと土で調整する

完成したレリーフお披露目は、7月23日(日)午前 11 時、川崎副会長の司会進行で、会長の挨拶の後、北島副会長・神木先生、牧野・木村両総務委員によって除幕され、目出度く皆様に披露された。



除幕のテープを引く皆様



大龍寺ご住職と流再度支部総務委員、左は私  
引続き、大龍寺・井上御住職様による開眼仏事

が執り行われた後、新人サークルメンバーを中心とした皆さんで祝歌（神木先生作詞・早瀬先生指揮）を歌い式典は最高潮！



新人サークルメンバーの祝歌で除幕式は最高潮！



レリーフを囲んで記念撮影

会員 84 名と、この催しにご興味をお持ち頂きご参加下さった六甲山専門学校の前田校長様や、神戸学マイスター資格を保持されタウンガイド KOBE24 の代表をされておられる藤井さち子様など、6 名を含む 90 名の参加者全員で万歳三唱を行い、除幕式典を無事終了することが出来た。

この式典を神戸ヒヨコ登山会の新たな出発点ととらえ、会員の皆様が、益々「元気なヒヨコ！」に邁進して頂くことを心より願うのである。

皆様、ご協力有難うございました。

尚、この行事については、神戸新聞社（小林伸哉記者）が取り上げて下さり、翌日の朝刊・神戸版に掲載されたことを申し添えておきます。